



れきけん ニュースレター

Vol.16



～北海道遺産第3回選定～ 北海道の簡易軌道<鶴居村など> ※写真提供：NPO法人北海道遺産協議会

- 特集1：北海道遺産第3回選定決定！
- 特集2：札幌軟石に新たな息吹を。「軟石や」の取り組み
- 建築ヘリテージサロン～金沢職人大学校他研修視察
- おすすめ・れきし系BOOK

●特集1：北海道遺産第3回選定決定！

北海道命名150年事業のひとつとして実施していました、北海道遺産第3回選定の選定結果発表と選定証授与式を平成30年11月1日（木）に執り行いました。

今回の選定では、「シェアリングヘリテージ」をキーワードに、地域遺産と地域とのつながりの深さ、担い手の思い入れをその地域遺産の保全活用の取組に活かし、次世代へ継承していくことを期待して、15件の新たな北海道遺産を選定いたしました。

当日は新しい選定地域の方々にご列席いただき石森会長から選定証の授与をさせていただきました。また、高橋北海道知事にもご出席いただき、祝辞と授与式への立合をいただきました。活動を長年続けてこられた団体の皆さんの晴れやかな表情からは、これからも変わらず地域遺産を守り伝えていく熱い想いが伝わってくるようでした。

選定証授与式から数か月たちましたが、各地では、北海道遺産選定を記念したフォーラムやパネル展示などのイベント開催、選定された遺産がテーマとなった新聞記事等の掲載、遺産をモチーフにしたPR物の制作や発売などの活動が盛んに行なわれている様子をお知らせいただいています。

ぜひ、これからも、新15件の遺産をはじめとした、67件になった北海道遺産の応援をどうぞよろしくお願い致します。（NPO法人北海道遺産協議会 萩 佑）

【北海道遺産webサイト：<http://www.hokkaidoisan.org>】

■北海道遺産第3回選定15件■

- 1.利尻島の漁業遺産群と生活文化<利尻島>
- 2.旭川家具<旭川市>
- 3.三浦綾子記念文学館と外国樹種見本林<旭川市>
- 4.増毛山道と濃屋（ごきびる）山道<増毛町、石狩市>
- 5.北海道の集治監（樺戸、空知、釧路、網走、十勝）<月形町、三笠市、標茶町、網走市、帯広市>
- 6.小樽の鉄道遺産<小樽市>
- 7.大友亀太郎の事績と大友堀遺構<札幌市>
- 8.パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）<札幌市>
- 9.札幌軟石<札幌市>
- 10.蝦夷三官寺（有珠善光寺、様似等澗院、厚岸国泰寺）<伊達市、様似町、厚岸町>
- 11.しかべ間歇泉<鹿部町>
- 12.むかわ町穂別の古生物化石群<むかわ町>
- 13.北海道の簡易軌道<鶴居村など>
- 14.千島桜<北海道各地>
- 15.松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡<北海道各地>



利尻島の漁業遺産群と生活文化<利尻島>



小樽の鉄道遺産<小樽市>



旭川家具<旭川市>



蝦夷三官寺（有珠善光寺、様似等澗院、厚岸国泰寺）<伊達市、様似町、厚岸町>



むかわ町穂別の古生物化石群<むかわ町>

※写真提供：NPO法人北海道遺産協議会

●特集2：札幌軟石に新たな息吹を。「軟石や」の取り組み

幼少期に小樽で見た石蔵群に心惹かれ、石の建物の前を通るたび、憧れの気持ちで眺めていました。札幌軟石を唯一採掘している辻石材工業株式会社で見た職人技とこれまでに見ていた建物の意匠が重なった時、居てもたってもいられない感動を覚えました。

軟石そのもの、そして軟石建物とそれを加工する技術の素晴らしさを伝えたい。そう思った事務員でした。この石が持つ新しい可能性は、現在の用途以外にはどんなことがあるだろう？この端材を使って軟石をPRすることができないだろうか？

それは軟石やになった今も変わらない課題です。私たちが作る「軟石雑貨」はあくまで手に取りやすいキャッチアイテムであり、軟石に興味を持っていただくための入口と考えています。

軟石建物を使い続けることで軟石を守ることも私たちの課題です。工房としてお借りしている建物は、民家として建てられ66年。大家さんは借り手がいないだろうと解体の見積を取ったそうです。

また、これからお借りする「旧石山郵便局（ぽすとかん）」も代々受け継いで守ってきたものの、固定資産税に悩まされていました。

しかし、大家さんにとって「悩ましい建物」にお店を構えることで大きな特徴・魅力となり、わざわざ調べて本州や海外から足を運んでくださる方も少なくありません。よそ者目線も時には役に立つものです。

また、どうしても解体しなくてはならない事情があるものについては、株式会社盛伸のご協力のもと、ぐしゃぐしゃに壊すのではなく、ブロックごとに外すことで再利用ができるため、施主さんは軟石の処分費を減らすことができます。

小さな力ではありますが、今後も私たちに無理なくできることを見つけて試していきたいと思っています。（軟石や 小原 恵）



【SHOP 情報】

■軟石雑貨制作工房「軟石や」

〒005-0842
北海道札幌市南区石山2条3丁目1-26

TEL：090-9425-0573
FAX：011-351-1071
Mail：nansekiya@gmail.com
HP：<http://212a-a.jimdo.com/>
FB：<https://www.facebook.com/nansekiya/>

オリジナル軟石グッズの制作、ワークショップ、イベントサポートなどを行なっています。



軟石やのオリジナルグッズ



南区石山：石山郵便局

※写真提供：軟石雑貨制作工房「軟石や」小原恵

●建築ヘリテージサロン～金沢職人大学校他研修視察

去る3月25日～27日、建築ヘリテージサロンでは設立10周年記念事業として北陸を巡る研修視察（参加18名）を行いました。「北陸の伝統的建築を識り、これからを感じる旅」として、金沢の兼六園（文化財指定庭園 特別名勝）、成巽閣（重要文化財）、金沢城公園（重要文化財を含む）、ひがし茶屋街、金沢職人大学校、五箇山合掌の里・岩瀬家（重要文化財）、高岡山瑞龍寺（国宝）を訪れました。中でも、金沢職人大学校の訪問は、建築技能継承集団である建築ヘリテージサロンにとって今回の旅の一番の目的でありました。その視察の概要をお伝えします。

武家文化の城下町である金沢は、非戦災都市であることから、その伝統環境や文化が現在も息づく街。しかしその一方で、年々それらの衰退や建築職人などの後継者不足が問題となっていたため、市は伝統的高度な職人の技の継承および後継者の育成を「文化政策であり、まちづくり」であるととらえ、「歴史に責任を持つ」というスタンスで、金沢職人大学校の設置を決めました。1996年に本科9科（石工科、瓦科、左官科、造園科、大工科、畳科、建具科、板金科、表具科）を開校し、1999年には修復専攻科を増科しました。本科では中堅の職人を対象に、いまでは需要の少ない伝統技法も絶やさないう、熟練職人（黄綬保証受賞者、名工など）から技を伝承することで後継者を育成。修復専攻科は、本科修了生に加えて建築設計士や市文化財関係職員も対象に、専門知識の習得と技術研鑽をはかり、まちづくりに貢献しうる人材を育成しているとのこと。しかしながら、表具と畳は需要減などから職人数が激減し、存続が危ぶまれているという厳しい話もお聞きしました。そして、実習室の様子も見学し、なまこ壁や畳の手縫床など、貴重な技の数々に接してきました。

金沢市の素晴らしい取り組みに触れたことは、建築ヘリテージサロンの今後の活動にとって良い影響を与えるものになったと感じると共に、厳しい現実についてはメンバーがそれぞれの状況と重ね合わせながら受け止めていたよう。大変、有意義な視察でした。（登尾未佳）



※写真提供：登尾未佳

●おすすめ・れきし系BOOK



- あれんが庁舎物語
- 著者：北室かずこ
- 発行者：舟山廣治
- 発行所：一般社団法人北海道北方博物館交流協会



- 歴史と統計学
- 著者：竹内啓
- 発行者：金子豊
- 発行所：日本経済新聞出版社



- 若い読者のための考古学史
- 著者：ブライアン・フェイガン
- 発行者：徳留流慶太郎
- 発行所：株式会社すばる舎

★編集後記★

今年は雪解けが早く、桜の開花も例年よりも1週間ほど早いそうです。ちょうど、れきけんニュースレターが届く頃に開花する模様です。今年はどこでお花見ができるかな。vol.16では、いつもの、おすすめ・れきし系BOOKならぬ、おすすめ・れきし系BOOKと題して書店で見つけたれきし系BOOKのご紹介です。（かみ）

